

ガイアポリス
其の島

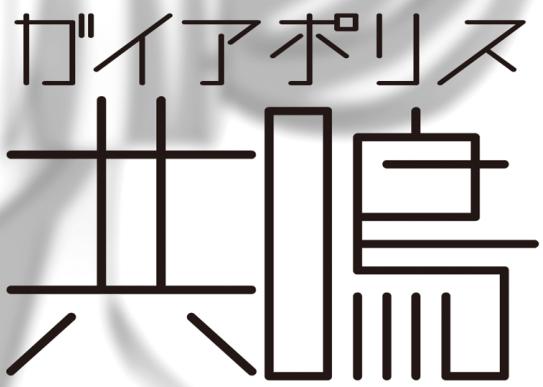
vol.2 マーゴット



本データは、Studio F#が実施している
参加型投稿企画「ガイアポリス共鳴」の
お礼冊子の試し読み版です。
完全版は企画にご参加いただいた方に
さし上げております。
郵送でお送りする冊子版の他、データ
版もございます。

もしよろしければご参加下さい。

ガイアポリス共鳴
<http://kyomei.f-sp.net/>



vol.2 マーゴット

皇女マーゴット 身上調査



名前

マーゴット＝エディス・ヴィラ・アヴァロン (Margot Edith Villa Avalon)

略歴

- 617.2 帝都ジュネーヴに生まれる、ほどなく母死去
エリンによって「岬の屋敷」へ移され、世間から隠して育てられる
- 629.1 アヴァロン城へ帰還
- 629.4 ロディス・カスター工に出会う
- 629.5 ゲオルグと共に、ヴヴェイの離宮へ
- 633.4 ロディスと再会
- 633.6 ハミルトン公爵の誕生会にて火災に巻き込まれる
- 634.8 ロディスと渡り鳥の門へ
- 638.1 退任するエーベルハルトに代わり、連邦評議会議員に就任

性別

女

生年月日

617年2月22日

瞳の色

高貴なる堇色 (High-born violet, royal violet)

利腕

右

その他身体的特徴

箱入りで育ったため表情は幼いが、
成長してからはぐつと女性らしい
体型に。

【占い師アンネローゼから一言】
情緒豊かで、包容力のあるあなた。これと決め
た相手には命をかけた献身的な愛情を注ぎま
す。反面、自分が定まらず不安な気持ちを抱い
てしまいがち。自信を持つて!



現住所

連邦直轄区ネオポリス セントラルコート(評議員官邸)



はじめの一歩……

評議員として直轄区に赴任するにあたり、
初めての一人暮らし(ではないですが)をは
じめることになりました。ロディスとずっと
一緒に暮らるので幸せな反面、城へ置いて
きた父やエリンのことや心配もしているよ
うで、頻繁に映像通信で連絡を取り合ってい
るようです。
というか、日々充分になだめておかないと、
父なんかは乗り込んできそうですね。

特になし

免許・資格

所属・肩書き

連邦評議会議員
(評議会でのあだ名は「マロウ」)

ロディスがそう呼んでいたのを見たユリウス
が広めました。

父系の遺伝子のおかげか、母親の持っていた虚弱体質は彼女には引き継がれなかつたようです。

A型

血液型

身長

164センチメートル

髪の色

ブロンド

出身地

帝都アヴァロン

素直でおつとりしており、まじめ。

先代皇帝 アーシュラ・オルガ・ヴィラ・アヴァロン



兄弟について

これ以上無いほどの箱入り状態で育てられたため、人を疑うといったことが基本的に無い。民への慈悲を持つことを第一と学んできたため、周囲に対して際限無く優しい。それは時に自分自身を傷つけることになるのだが、彼女は自分ことはあまり優先しない。ただ、世間知らずであるおかげか、時々大胆なこともする。

父親について

アヴァロン大公 ゲオルグ・アヴァロン



兄弟について



ジエラルド・パークー (ジエラルド・エリク・アヴァロン)

兄弟について

マー・ゴットの兄弟はジエラルドしか居ませんが、ジエラルドはマー・ゴットの弟扱いは全くうけていませんので、そもそも、彼女には弟というものがどういうものなのか、理解できていませんでした。ただ、ジエラルドのことはとても大切に思っていますので、成長したマー・ゴットは、ジエラルドを出来るだけ普通の弟として遇したいと思っています。(ジエラルドは別に彼女の「普通の弟」観は、本を読んだりして学んだ知識をもとにして作られたものです。

兄弟について

曾祖父は一代前の皇帝アドルフ、祖父はその息子エーベルハルト・ベイフェルト 祖母の名はヨハンナ。

だから、一人が普通の親子になれないのは、たとえあの高原の夜の事件が無かつたとしても、同じことだったのではないか。身につくものでも無いと思いますが)

奔放で旅行好きの祖父母は健在で、今も精力的に各地を周遊しています。

エリン・グレイ (エリン・カスター)



彼はマー・ゴットの守護者ではありますが、「剣」はあくまでジエラルドですので、エリンは彼女にとって特殊な存在です。剣でなく、父ではなく、兄でなく、けれど誰よりも親しく、自分を愛してくれるのがエリンです。マー・ゴット自身も彼のことは「エリンはエリンである」くらいにしか規定できていません。

将来の夢

周囲の者やエウロの人々の幸せ ローデイスとの結婚



貫して皇女としての立場を意識して育っていますので、自分自身の願い事は常に二番手以下に回してしまいます。無理をしてそうなのでではなく、本心から民の幸せを祈っています。ローデイスと少し近いですね。

父について

アヴァロン大公 ゲオルグ・アヴァロン

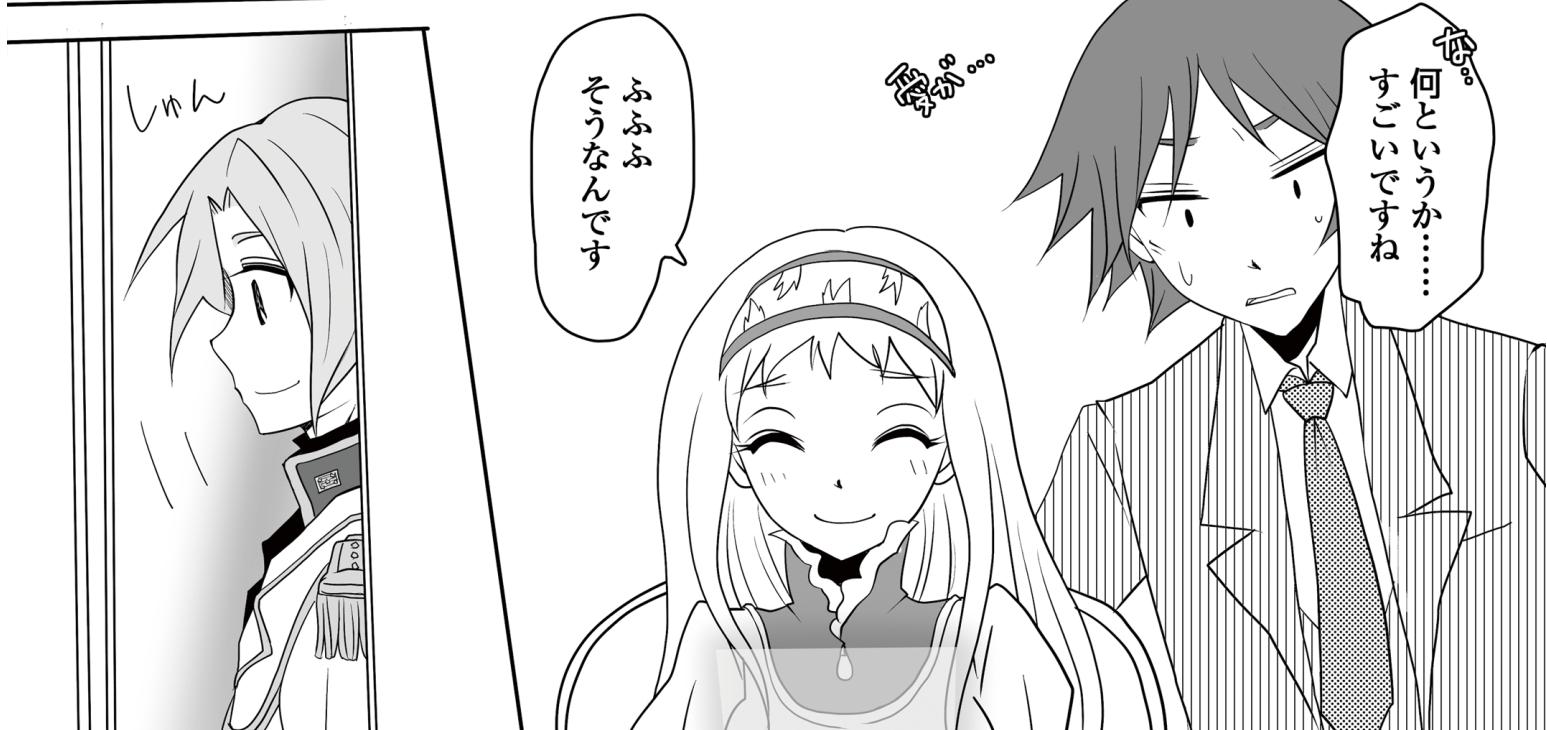
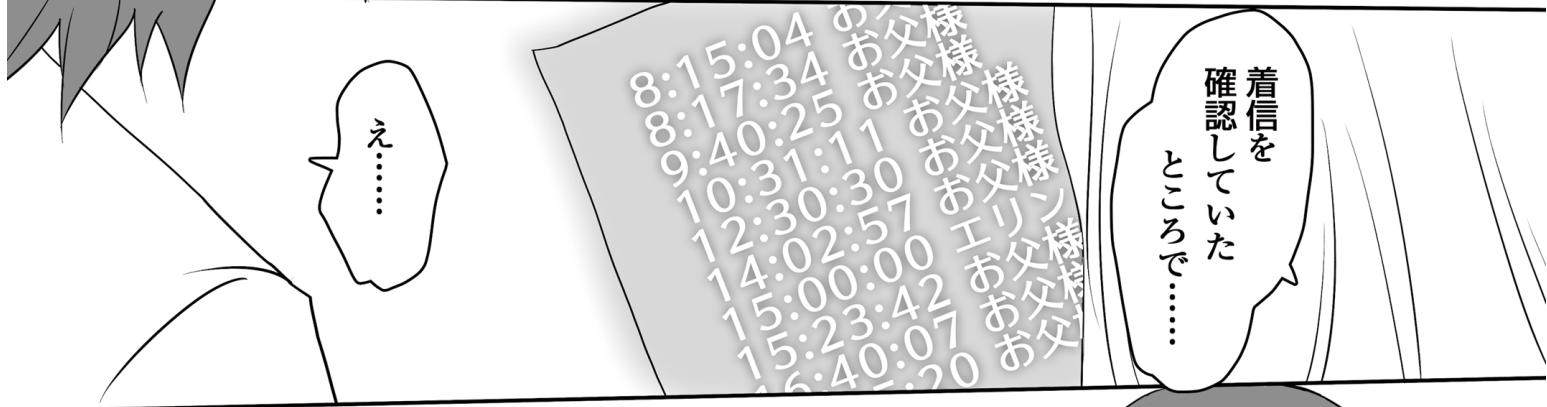
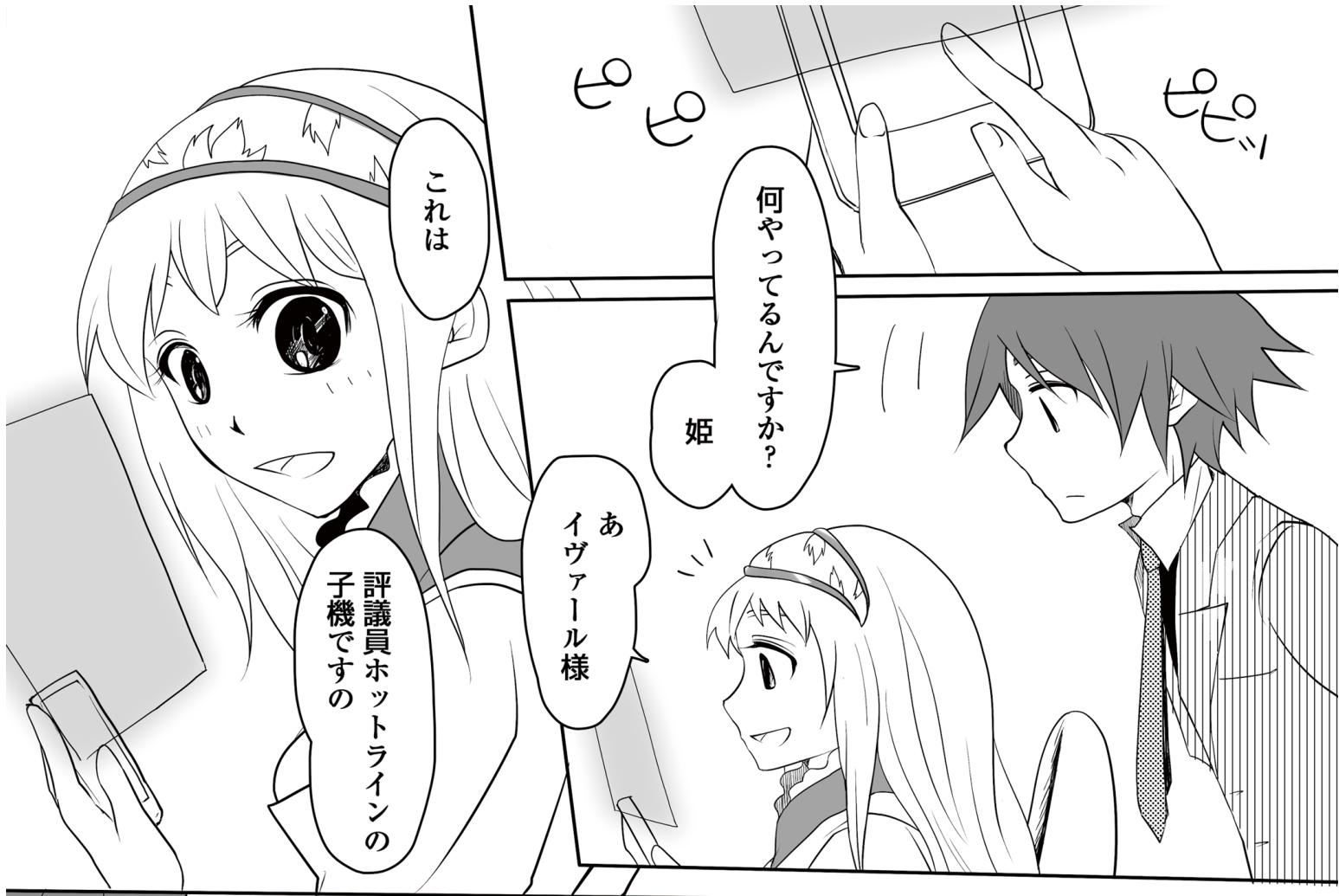


兄弟について

兄弟について

マー・ゴットはゲオルグのことを「お父様」と呼びますが、彼をごく自然な意味での父としては、はじめから捉えていなかつたのではないかと思います。生後一年未満で離れ離れになり、幼年期を一緒に過ごしていないゲオルグのことを見、いくら頭では「父として慕つていても、その関係性はそもそも一般的な親子のそれにはなりえないのではないか」と思うからです。もちろん、再会後、絆を深め、家族として良い関係を結ぶことは出来ると思います。けれど、きっとマー・ゴットには、本当の父がどんな存在であるのかはわからない。彼女を育てたエリンも、両親から放されて育った子供ですので、それを教えることは出来ません。(もっとも、教えられて身につくものでも無いと思いますが)

だから、一人が普通の親子になれないのは、たとえあの高原の夜の事件が無かつたとしても、同じことだったのではないでしょうか。



今日は何か
召し上がりたいものあります？

いいえ、全然

姫、すみません
お待たせしました？

ええっ……

姫にまた何か
吹き込んだ？

……イヴァール

では、「ピザ」で

マーゴット立ち絵資料<リ・エンゲイジ>



リ・エンゲイジ（2012）の立ち絵資料です。マーゴットが登場する作品は、基本的にこの人は他キャラよりもお着替えを多く作るので、いつもとても楽しいです。

でも、ADVタイプの「リ・エンゲイジ」では、主人公なのでゲームでは肩から上しか表示されず切ない思いをしています。シャツとか、足が見えるのがいいのにね！

シュガードロップ・ブレイクアウト前編ではピンクドレスのマーゴットでしたが、成長してからはメリハリをつけようと、後編の時間軸からのちは落ち着いた色を中心に配色しています。あとは帝室の象徴である紫は入りそうなときは入れています。（これは、姫だけでなく、エウロ関係者が身に付けているものに出てくる「紫色」は、色々な意味で帝室を意識したものという意思表示として作っています）

……ああ、でも、またピンクで可愛いのも着せたいですね！

衣装デザインについては、舞台は中世っぽく見えるものの未来SFなので、衣装はあまり伝統衣装やクラシカルなドレスを参考にしそうないようにと思って、意識して好きなように作っています。あと、お姫様なので、いわゆるロリータファッション的なフリフリ（あれはとても可愛いけれど、姫というには軽すぎるので）にならないようにも。とはいっても、ぐっとフリル＆パニエな要素を減らして現代のプリンセスのようにフォーマルなツーピースとかにしても、絵的には地味ですし、難しいですね。

それにしても金髪のキャラが多い作品群です。金髪を塗るのは楽しいのですが、さすがにちょっとだけ飽きた（笑）

StudioF#

Nimrod : マロウ

皇女マーゴットの愛称。

彼女をこの名で呼ぶのは、もともと
父ゲオルグとロディスだけであった。

